

## 平成 29 年 10 月 1 日現在の保育所等利用待機児童数について

- 厚生労働省から保育所等利用待機児童数調査要領の改正が通知（平成 29 年 3 月 31 日）され、育休関係について定義が変更になりました。改正により、育児休業中の方について、新たに復職の意思確認が必要になり、復職の意思を確認できる場合には、待機児童に含めることになりました。
- 今年 4 月は旧定義に基づき集計を行いました。10 月から新定義に基づいて集計し、平成 29 年 10 月 1 日現在の待機児童数は、前年比で 1,486 人増加し、1,877 人となりました。
- このうち、育児休業中の方で復職の意思のある方は 1,419 人でした。

### 1 待機児童数等の状況

#### 【待機児童数】

（単位：人）

区分	28年4月	28年10月 (ア)	29年4月	29年10月 (イ)	差し引き (イーア)
就学前児童数	185,564	184,639	182,511	180,967	▲ 3,672
保育所等利用申請者数 (A)	61,873	65,762	65,144	68,544	2,782
利用児童数 (B)	58,756	59,793	61,885	62,627	2,834
保留児童数 (C) = (A) - (B)	3,117	5,969	3,259	5,917	▲ 52
横浜保育室等入所数 (D)	987	1,527	896	1,467	▲ 60
横浜保育室	586	819	485	645	▲ 174
川崎認定保育園	12	25	6	12	▲ 13
幼稚園預かり保育	44	53	54	66	13
事業所内保育施設	50	123	79	210	87
年度限定保育事業	131	136	129	124	▲ 12
一時保育等	164	371	143	410	39
育休関係 (E) *1	420	1,756	413	482	▲ 1,274
求職活動を休止している方 (F) *2	366	680	277	523	▲ 157
特定保育所等のみの申込者など (G) *3	1,337	1,615	1,671	1,568	▲ 47
待機児童数 (H) = (C) - [(D) + (E) + (F) + (G)]	7	391	2	1,877 うち育休中 *4 (1,419)	1,486

#### (\*) 補足説明

- \*1 育休関係：10月1日に育休を取得されている方のうち、復職の意思がない方
- \*2 求職活動を休止している方：ご自身等でお子さんをみながら、インターネットなどを利用し、在宅で職を探している方
- \*3 特定保育所等のみの申込者など：1か所しか申し込んでいない方、2か所以上申し込んだにもかかわらず、第1希望等の保育施設しか利用を望んでいない方、申し込みをされた園や自宅の近くに利用可能で空きがある保育施設があるにもかかわらず利用を希望されない方
- \*4 うち育休中：待機児童数のうち、育児休業中で復職の意思がある方

## 2 待機児童の状況

### (1) 年齢別の状況

- ・0～2歳の低年齢児で、全体の約98%を占めています。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年10月(a)	1,505	246	92	26	5	3	1,877
29年4月	0	1	1	0	0	0	2
28年10月(b)	172	150	56	12	1	0	391
28年4月	2	2	1	2	0	0	7
増減(a-b)	1,333	96	36	14	4	3	1,486

### (2) 認可保育所等の定員外入所・定員割れの状況

- ・認可保育所及び幼保連携型認定こども園743園のうち、381園(2,998人)で定員外入所を実施しています。29年4月比では、30園(275人)増となっています。
- ・一方、264園(1,536人)で定員割れが生じています。29年4月比では、40園(353人)減となっています。なお、定員割れの約94%が幼児(2～5歳児)の枠となっています。
- ・新設保育所の4・5歳児枠については、新規入所を希望される方がほとんどなく、2歳、3歳の在籍児童が進級後には埋まる枠であるため、開所後2年間は、定員割れの算定から除いています。

		定員外入所数			定員割れ人数		
		29年4月(A)	29年10月(B)	差引(B-A)	29年4月(A)	29年10月(B)	差引(B-A)
箇所数		351園	381園	30園	304園	264園	▲40園
人数		2,723人	2,998人	275人	1,889人	1,536人	▲353人
内訳	乳児(0～1歳)	692人	933人	241人	328人	91人	▲237人
	幼児(2～5歳)	2,031人	2,065人	34人	1,561人	1,445人	▲116人

※利用人数には、市外のお子さんも含みます。

## 3 30年4月に向けた取組状況

### (1) 受入枠の拡大

- ・30年4月に向けて、11月末時点で、認可保育所(分園含む)35か所、幼保連携型認定こども園7か所、小規模保育事業18か所などの整備が見込まれています。
- ・また、既存の保育施設において一人でも多く受け入れていただくための働きかけや、余裕スペースを有効活用する年度限定保育の実施に関する調整などを、引き続き、年度末まで行います。

### (2) 保育士確保

- ・保育士確保策については、保育士用宿舍借り上げに係る経費助成や学生の修学資金の貸付などの取組を進めています。
- ・さらに、30年4月に向けては、保育所の利用調整における保育士の子どもの優先的取扱いの導入に加え、「よこはま保育士就労促進キャンペーン」(12～3月)として、養成校の学生や潜在保育士等へのPR強化、保育施設見学の積極的受入や就職支援講座、就職面接会の集中的開催など、関係機関とも連携し保育士の確保に取り組みます。

# 参考資料

## 平成29年度 区別保育所等の待機状況 —平成28年度との比較—

区名	平成28年10月1日現在						平成29年10月1日現在						待機児童数 前年比 (人)
	就学前 児童数 (人)	施設数 (か所)	定員数 (人)	利用 児童数 (人)	保留 児童数 (人)	待機 児童数 (人)	就学前 児童数 (人)	施設数 (か所)	定員数 (人)	利用 児童数 (人)	保留 児童数 (人)	待機 児童数 (人)	
鶴見	16,311	72	5,517	5,823	659	34	16,038	79	5,872	6,120	576	185	151
神奈川	11,652	56	3,879	4,165	521	43	11,551	64	4,301	4,495	501	160	117
西	4,782	25	1,325	1,399	193	16	4,827	28	1,446	1,542	222	43	27
中	6,609	34	1,984	1,982	212	20	6,530	37	2,055	2,087	270	54	34
南	8,107	39	2,532	2,742	253	6	8,024	40	2,584	2,789	275	68	62
港南	9,320	53	3,594	3,396	236	22	8,982	55	3,682	3,391	210	107	85
保土ヶ谷	9,134	44	3,156	3,032	279	4	9,048	47	3,372	3,204	264	47	43
旭	11,130	50	3,357	3,598	279	28	10,843	55	3,524	3,680	259	83	55
磯子	8,257	36	2,462	2,644	349	18	8,146	38	2,557	2,834	349	117	99
金沢	8,626	42	3,028	3,128	219	15	8,378	42	3,029	3,154	241	64	49
港北	19,237	88	6,081	6,325	958	74	19,246	104	6,960	6,993	946	302	228
緑	9,425	53	3,215	3,085	261	24	9,172	55	3,319	3,185	283	114	90
青葉	16,015	68	4,561	4,432	449	31	15,592	74	4,775	4,665	426	152	121
都筑	13,297	57	3,864	3,766	284	18	12,607	58	3,904	3,768	297	92	74
戸塚	14,290	64	4,472	4,537	403	24	14,136	69	4,828	4,826	408	123	99
栄	5,391	22	1,530	1,638	109	3	5,239	23	1,594	1,661	108	41	38
泉	7,160	37	2,690	2,473	158	11	6,998	40	2,737	2,527	142	73	62
瀬谷	5,896	29	1,594	1,628	147	0	5,610	31	1,673	1,706	140	52	52
合計	184,639	869	58,841	59,793	5,969	391	180,967	939	62,212	62,627	5,917	1,877	1,486